

令和5年度第54回卒業式

かけがえのない出会いに感謝



①引き締まった表情で整列する卒業生②式辞を述べる菅校長③卒業生を祝福する鈴木町長④卒業生に感謝伝える在校生代表の晃奈さん⑤思いあふれる答辞を述べた卒業生代表の侑芽さん

3月1日、令和5年度第54回葛巻高校卒業式が挙行され、菅常久校長から55人に卒業証書が授与されました。

この3年間で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、生徒たちは多くのことに挑戦しました。さまざまな制約の中でも創意工夫で生徒会行事の充実を図り、企業と共同開発した「くずまきパン」も大きな反響を呼びました。

菅校長は式辞で「予測不可能な現代には正解のない問いに直面することがあります。その時々自ら最もふさわしい解決方法を



卒業証書を授与される生徒

考え、より良い未来を創造してください」とはなむけの言葉を送りました。

また、鈴木重男町長は「挑戦すると壁にぶつかることがあります。苦しい時は自分が成長している時。どんな時も温かいふるさと葛巻があることを忘れないでください」と激励しました。

送辞では丸山晃奈さん（2年）が「今できることに全力を注ぎ逆境を乗り越える先輩たちは、私たちの意識を変えてくれました。葛巻高校の伝統と先輩たちが築いた新しい歴史、そして優しい心を受け継ぎます」と誓いました。

最後に卒業生代表の吉田侑芽さんが「未熟な私たちに最後まで寄り添ってくれた先生方、いつも信じて付いてきてくれた後輩の皆さん、18年間支えてくれた家族、本当にありがとうございます。この小さな学校でかけがえのない仲間に出会えて、葛巻高校に来て良かったと心から思います」と万感の思いを伝えました。



3年間の留学生生活を終えた第7回生の皆さん（前列）

山村留学生修了式  
笑顔で巣立つ9人

卒業式に先立ち、2月29日にはくずまき山村留学修了式がグリーンテージで行われ、第7回生9人に石角則行教育長から山村留学の卒業証書が授与されました。

3年生代表の松田藍未さんは寄宿舎生活を振り返り「知らない場所でも知らない人たちとスタートした寄宿舎生活でした。心を許し合える仲間と出会えたことは留学生活の賜物です」とあいさつ。3年生は寄宿舎のスタッフや後輩たちと別れを惜しみながらも晴れやかな笑顔を見せていました。

活動の成果を発表、今後へ刺激

2月21日、1、2年生83人がくずまのまき×まきホールで「総合的な探究の時間」の成果発表会を行いました。

令和5年度の探究は、各学年11班が活動を。高校生ならではの発想を生かし、地域の食材を使った料理の開発や自然資源を生かした企画、町の魅力発信などさまざまな活動に取り組みました。

発表会では、はじめにポスターセッションで探究の目的や活動内容、今後の予定などを参加者に紹介しました。会場には高校生の活動に関わった小学生も訪れ、熱心に説明を聞いていました。参加者は「応援したい」、「優れている」という活動に投票を行い、得票数上位の7つの班が

ステージ発表を行いました。

2年8班は手話で小学生と交流し、福祉の輪を広げる「しゅわにけーしょん」を紹介。「ポスターセッションに来た小学生が、手話を覚えていてくれてうれしかった」と、活動の広がりを感じていました。

コメントターの増田伸江さん（岩手大学教員養成支援センター特命教授）は「葛巻高校の生徒は、自分たちの好きなことを活動に取り入れ、それが共感を生み輪が広がり、まちおこしにつながっている」と活動を評価しました。

生徒は、発表会の参加者からさまざまな質問や意見を聞き、今後の活動へ良い刺激を受けていた様子でした。



ポスターセッションで探究内容を説明



1年4班のグループ発表の様子



活動の成果を発表する2年8班の皆さん



高校生記者レポート



丸山晃奈（3年）  
大好きな先輩方との別れを迎える春が憂鬱でしたが、温かい風に穏やかな気持ちです。

被災地支援の募金活動

生徒会が企画した能登半島地震で被害にあった方々を支援するための募金活動が、2月26日から29日の4日間にわたって行われました。

昇降口に生徒会が立ち、登校してくる生徒に募金を呼び掛け、1万2236円を集めることができました。このお金は、2年A組がおどってマーケットで得た収益と一緒に、社会福祉協議会を通して支援に使われます。

少しでも被災地の皆さんの役に立つてほしいという願いを込め、生徒会が企画した募金活動でしたが、多くの生徒が同じ気持ちで募金に参加してくれました。その気持がともうれしく、早く被災地の皆さんに届いてほしい気持ちでいっぱいです。休校や集団



社会福祉協議会の辰柳敬一会長（前列中央）に募金を手渡した葛巻高校の皆さん

避難を余儀なくされても、勉強や部活に励む被災地の学生の様子を日々ニュースで目の当たりにして、同じ学生として1日でも早く復興することを願っています。私たちがついに3年生になりました。最後の部活や受験で目まぐるしい日々を送ることになるでしょう。今年度も、葛巻高校をよろしく願います！